

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成23年3月17日 (2011.3.17)

【公開番号】特開2010-131998(P2010-131998A)

【公開日】平成22年6月17日 (2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2010-655(P2010-655)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 0 5 D 1/26 (2006.01)

B 0 5 D 3/02 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 M 5/00 E

B 0 5 D 1/26 Z

B 0 5 D 3/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月26日 (2011.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有機溶剤を主たる構成成分とし、着色剤を含む溶剤インクを用いるインクジェットプリンタであって、

媒体に対して前記溶剤インクを吐出するインクジェットヘッドと、

前記溶剤インクが吐出された前記媒体に対してマイクロ波を照射し加熱乾燥する
マイクロ波照射部と

を備えることを特徴とするインクジェットプリンタ。

【請求項 2】

前記媒体として、剥離紙付き塩化ビニル系樹脂フィルムの媒体を用いる場合において、
該加熱後に前記剥離紙を剥がした場合、塩化ビニル系樹脂フィルムの媒体が実質的にカー
ル状に変形しない加熱乾燥処理条件とされていることを特徴とする請求項 1 に記載のイン
クジェットプリンタ。

【請求項 3】

前記有機溶剤は、水に対して非相溶性の有機溶剤であることを特徴とする請求項 1 又は
2 に記載のインクジェットプリンタ。

【請求項 4】

前記有機溶剤は、グリコールエーテル系化合物又はグリコールエステル系化合物である
ことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載のインクジェットプリンタ。

【請求項 5】

有機溶剤を主たる構成成分とし、着色剤を含む溶剤インクを用いる印刷方法であ
って、

インクジェット方式により、媒体に対して前記溶剤インクを吐出する吐出段階と

、

前記溶剤インクが吐出された前記媒体に対してマイクロ波を照射し加熱乾燥する
マイクロ波照射段階とを備えることを特徴とする印刷方法。